



電子黒板を使った授業

Q

ICT教育の普及について



松尾 孝彦 議員

A

活用し、効果的な指導を行う

質問一 現状と課題について。
二 学習意欲向上の取り組みについて。
答弁一（教育委員長） 全小中学校のコンピューター室に児童生徒用コンピューターを40台配置している。また、教室でICTを活用した授業ができるように電子黒板を小学校2台、中学校4台配備している。
 授業でICTを活用して指導できる教職員はまだ少なく、活用する教職員に偏りがある。課題としては、ICTの環境整備と教職員のICTを活用した指導力の向上と認識している。
二 子ども達の学習活動への興味関心を高める方法の一つとして、ICTの活用は有効である。図や写真などの資料を拡大して提示し

たり、体育、技術家庭科等でフォームや作業の仕方をビデオカメラで撮影して繰り返し見せたり、図形や天体のシミュレーションを見せるなどの活用が報告されている。どのようにICTを活用し、効果的な指導ができるかが学習意欲向上の鍵である。今後、学習意欲が高められるよう効果的な活用方法を各学校に指導していく。
 ◎その他の質問
一 消費者教育の充実について
二 ひきこもり支援について

A

雨水利用タンクの助成を検討していく

Q

雨水利用の促進を

山中 基充 議員



質問一 雨水利用促進の考えと取り組みは。
二 トイレへの雨水利用と下水道料金の関係は。
三 雨水利用タンク設置への近隣市町村の助成の状況について。
四 雨水タンク設置への助成を。
答弁一（市長） 雨水の利用の推

進に関する法律の趣旨を踏まえ、雨水の有効利用についての情報提供や意識啓発を図っていく。市では、市内の5か所の施設で、トイレの洗浄水として雨水を利用している。
二 通常は、水道の使用量によって下水道料金を算出する。雨水を



農村センターの雨水貯留タンク

トイレの洗浄水に使用した場合は、雨水の使用量を計測するメーターを設置して、水道の使用量と合算した数量で下水道料金を算出する。
三 県南部を中心とした16市で助成している。近隣では川越市、狭山市、入間市が行っている。
四 今後、法の趣旨に基づいて、雨水利用の基本的な計画策定に取り組み、あわせて、市民ニーズを踏まえ、雨水利用タンクの設置の助成を検討していく。
 ◎その他の質問
一 IHクッキングヒーター設置補助について
二 公共交通利用促進条例について